

## 科目「ビジネス基礎」学習指導案

学 校 名	常陸大宮高等学校	指 導 者	教諭 ○○○○○○
指 導 日 時	平成 27 年 ○ 月 ○ 日 ( ○ ) 第 ○ 限	場 所	1-C 教室
対 象 生 徒	商 業 科 1 年 C 組・コース 16 人		
科 目 名	ビジネス基礎	使用教科書	ビジネス基礎 実教 出版

### 1 単元（題材）名

第2章 経済活動と流通の基礎 3. 経済活動と流通

### 2 単元（題材）の目標

- ・流通の働きについて理解させる。
- ・生産と消費の間は隔たりがあることを理解させる。
- ・流通の歴史と発展について理解させる。

### 3 単元（題材）について

#### (1) 教材観

経済活動における流通の意義や役割について、生産から消費に至る役割分担の変化及び小売業の業種、業態の変化と関係付けて理解させる。また、我が国におけるビジネスの発展について、国際化や情報化など経済社会を取り巻く環境の変化と関連付けて理解させる。さらに、環境問題、エネルギー問題、食糧問題への対応などビジネスの課題について、具体的な事例を取り上げて理解させる。

#### (2) 生徒観

生徒 16 名の少人数クラスで、非常に落ち着いている。学習の理解度は低く、反復学習が必要である。第2節の社会の変化とビジネスの発展の授業では、サービス経済化・情報化・グローバル化に関して学習している。

#### (3) 指導観

ビジネスにおける流通の重要性と生産と消費の隔たりについて、前時授業と関連付けて学習させる。また、理解度の確認や知識の定着を図るため、前時のまとめプリントの確認と今時のまとめプリントを学習させる。

### 4 単元（題材）評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>ビジネスと流通活動の関わりに関心を持ち、流通とは何か、流通が果たす役割について自ら意欲的に調べたりまとめたりしようとする。</p> <p>生産と消費の隔たりを結び付ける流通の機能や仕組みに関心を持ち、流通活動やの経済的特徴や環境による変化について自ら意欲的に調べたりまとめたりしようとする。</p>	<p>流通とは何か、流通が果たすべき役割について考察するとともに、流通の役割がますます重要になってきている理由を考え、表現しようとする。</p> <p>生産と消費の隔たりを結び付ける流通の機能や仕組みについて主体的に考察するとともに、流通活動の経済的特徴を小売業の業種・業態の変化や電子商取引の発展と関わらせて捉えようとしている。</p>	<p>流通とは何か、流通が果たす役割について把握するとともに、流通の役割がますます重要になってきている理由について説明することができる。</p> <p>生産と消費の隔たりを結び付ける流通の機能や仕組みについて様々な資料を選択して活用しその変化を把握することができる。</p>	<p>流通とは何か、流通が果たす役割について基礎的・基本的な知識を身に付け、流通の役割が、ますます重要視される理由について理解している。</p> <p>生産と消費の隔たりを結び付ける流通の機能や仕組みについて基礎的・基本的な知識を身に付け、流通活動全体に共通する経済的特徴を小売業の業種・業態の変化や電子商取引の発展と関わらせて理解している。</p>

5 指導と評価の計画（学習計画）

時	主な学習活動	指導及び留意点	関	思	技	知
1	流通の役割	生産と流通の隔たりを橋渡しすることが流通の重要な役割であることを理解させる。	○	○		
	流通の働き	生産と消費の間には、人的・場所的・時間的へだたりがあることを理解させ、その隔たりを解消する商的流通と物的流通を説明する。さらに、流通の担い手の概略を整理する。	○	○		
2	流通のしくみ	流通機構や流通経路など流通のしくみについて理解させる。特に後者については、生活用品と産業用品に分けて整理する。			○	○
	流通をとりまく環境の変化	消費者ニーズの多様化（高級化・個性化など）していること、小売業が業種から業態に重点を置くようになったこと、電子商取引が活発になっていること、デジタルコンテンツビジネスが進展していること、顧客満足の実現に立つマーケティングが求められていることなど、流通をとりまく環境の変化について具体的に解説する。			○	○

6 本時の学習

(1) 本時の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産と流通の隔たりを橋渡しすることが流通の重要な役割であることを理解させる。</li> <li>・生産と消費の間には、人的・場所的・時間的へだたりがあることを理解させ、その隔たりを解消する商的流通と物的流通を理解させる。さらに、流通の担い手の概略を理解させる。</li> </ul>
---

(2) 準備・資料等（学習に必要なワークシート、教育機器、資料等を記入）

自作ワークシート（まとめプリント）
-------------------

(3) 本時の展開（導入・展開・終末）

時間	学習活動・内容	指導上の留意点（◎評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の用意をして服装を整える。</li> <li>・前時学習した内容を「まとめプリント」にて復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の健康状態・心理状態の観察及び身だしなみを確認する。</li> <li>・前時学習した内容の確認と本時学習する内容を説明し本時の流れを把握させる。</li> </ul> <p>◎関心・意欲・態度</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P43を読む。</li> <li>・むかしと現在における生産と消費のあり方を個別に考え発表する。</li> <li>・教科書P44の流通の歴史と発展の図を確認する。</li> <li>・教科書P46を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に教科書を読ませ解説し内容を理解させる。</li> <li>・過去と現在における消費のあり方について個別に考えさせ、流通の役割について理解させる。</li> </ul> <p>◎関心・意欲・態度 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流通の歴史と発展について順に図で解説し、イメージを深めさせ流通の役割について気付かせる。</li> <li>・あなたが使っているものはどこで購入したのかを発問し、隔たりの存在について理解させ「商品が製造されてから消費されるまでの間にある隔たりは何か」をグループで考えさせる。（3分）</li> </ul> <p>◎関心・意欲・態度 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読ませ解説し内容を理解させ、人的・場</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P47「隔たりを解消する流通」を読む。</li> <li>・教科書P47「流通の担い手」を読む。</li> </ul>	<p>所的・時間的隔たりがあることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的・場所的・時間的隔たりを解消するにはどのような役割が必要かについて考えさせる（3分）</li> </ul> <p>◎<b>関心・意欲・態度</b>  <b>思考・判断・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「そのペンは誰のものか」と発問し、所有権について解説し商的流通について理解させ関連付けて物的流通を解説する。</li> </ul> <p>◎<b>関心・意欲・態度</b>  <b>思考・判断・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報流通について解説する。</li> <li>・流通の担い手を解説し、図式化しそれぞれの業種ごとに解説し理解させる。</li> </ul>
終末	自作ワークシートを用い本時の学習の内容を復習する。	・自作ワークシートを配付し本時の内容を確認・定着させる。